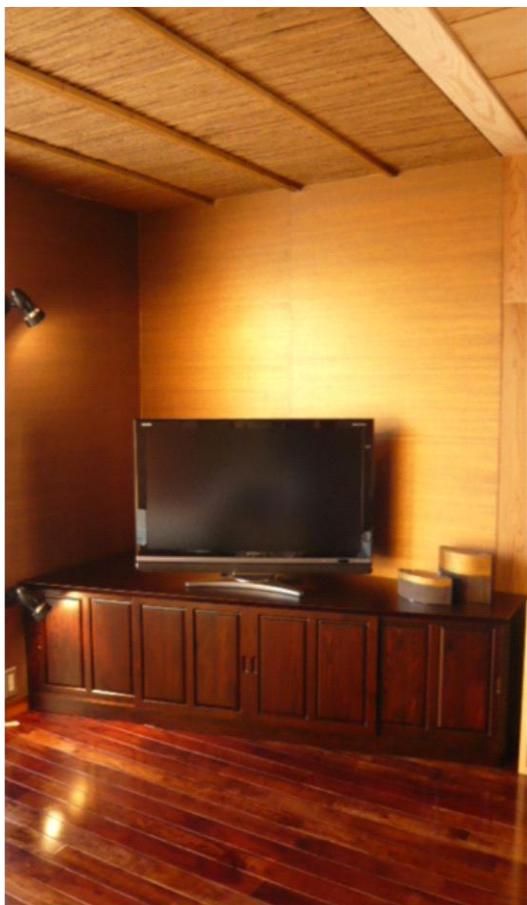


S邸
AVボード



檜材着色
+
ウレタン塗装
1915x850x580



斜め置きソファに
合わせて台形型に



引き戸扉の奥は
配線しやすい
オープンに



天板はコーナー部分が取り外し
可能で機器裏の接続が楽に。

2010nt

セカンドリビングルームにリノベーションしたS邸の和室のために作った民芸調のAVボードです。斜め置きソファに合わせて角度をつけた台形にデザインしました。

AVボードをオーダーで作る際は部屋にあったサイズ・形・色・仕上げはもちろんですが、中におさめる機器が使いやすく、きれいにおさまるスペース作り、また大型で容易に動かさないため、機器の配線がしやすいように配慮します。このAVボードについては家具の背板の一部をオープンにすることで、壁コンセントの出っ張りが当たることなく、コードも家具の中に収まるため、家具を壁にすき間なく置くことができます。さらに天板は奥のコーナー部分を上から取りはずせようにしたことで、上部からの配線も可能にしました。天板上置きTVのコード穴もあり、すっきり収まっています。

リノベーションと家具の造作が同時進行でできた今回はコンセントの位置や照明の高さなども家具の寸法と合わせながらプランすることが出来、より美しく家具をおさめることができました。

Audio and visual board in Japanese folkcraft style. To face diagonally, top board shapes trapezoid. Corner panel of the top is removable for easy cable wiring. Stained Japanese cypress with urethane finished.